

ふしぎがいっぱい（４年）「冬になると・・・？」利用案

筑波大学附属小学校 佐々木 昭弘

【単元のねらい】

冬の動植物の成長や活動の様子を、秋と比較しながら調べる活動を通して、気温の変化と関係付けて考えることができるようにする。また、動植物はそれぞれに適した姿や場所で、春に向けた準備をしながら命をつないでいることを理解させる。

【番組の利用にあたって】

本利用案においては、子どもたちに冬の動植物の様子への興味・関心を高めるとともに、秋の動植物の成長や活動と比較するための視点を明確にするために、単元導入部分での視聴を設定した。また、春に向けて様々な動植物が準備をしながら命をつないでいることを確認させるため、終末部分での視聴も設定した。

○：学習活動 ◇：支援 ◆：番組 ■：クリップ ▲：ワークシート

次	時	学習活動	教師の支援
第1次 冬の生き物のようすを調べよう	1	○冬の動物や植物たちの様子について話し合う。 ・葉がすっかりなくなった木もあるね。 ・観察できる動物は、秋より数が減ってきたような気がする。	◇秋に観察した動植物の様子と比較しながら、何がどのように変化したのかを発表させていく。 ◇秋に観察した時の活動を想起させながら、観察の視点を明確にしていく。
		冬になって、植物や動物たちの様子は秋と比べてどのように変わっただろうか？	
		○『冬になると・・・？』を視聴する。 ○冬の森や校庭の動植物の様子を観察する計画を立てる。	◆『冬になると・・・？』 ▲冬の森や林で生き物がさがしてみよう！～5
	2 3	観 察 ○冬の森や校庭に出かけ、植物や動物たちの様子を観察し、ワークシートに記録する。 ・虫たちはどこに行ったのかな？ ・葉もすっかりなくなった木もあるね。 ・木から芽が出ている。 ○観察した結果を確認し、秋と比べて何がどのように変化したかをまとめる。 ・虫はかくれていたからなかなか見つからなかった。	◇必要に応じて、下のクリップで観察したことを確かめさせる。 ■冬のぞう木林の生きもの ■冬のモンシロチョウ ■冬のドングリ ■サクラの冬め ■春から冬のサクラ ◇子どもたちが観察した事実をもとに、秋に比べて「動植物の数はさらに減ったこと」「動植物は姿を変えて春に向けた準備をしていること」に集約できるようにする。
		冬になって、秋と比べると植物や動物たちの種類や数はもっと少なくなった。しかし、姿を変えて春に向けた様々な準備をしている。	

※ 続きは「生き物の1年」の利用案へ